

予算特別委員会の審査から

令和2年度補正予算の主な審査内容をお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

令和2年度補正予算

予算特別委員会

令和2年度補正予算

◆一般会計(第9号)

【説明】歳入歳出それぞれ2億2千731万1千円を追加し、総額をそれぞれ1千49億3千817万1千円とする。

【主な質疑項目】

- ・財政調整基金の現在高
- ・駅前情報発信プロジェクト事業の積算内訳、業者選定、啓発動画の構成
- ・住居確保給付金事業の概要、積算根拠、相談からの申請数、申請から決定に至らないケース
- ・障害者・高齢者施設等PCR検査等経費補助事業の対象者・施設の範囲、実施方法・回数、積算根拠、感染が判明した時の対応
- ・在宅要介護者受入体制整備事業の実施内容、受入施設、積算根拠、周知方法、介護者が感染した場合の対応
- ・都市計画道路3・4・11号線に係る用地購入予定が増額となった理由
- ・消防委託負担金の増額理由

【結果】賛成全員で可決

◆一般会計(第10号)

【説明】歳入歳出それぞれ1億1千68万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1千50億4千885万4千円とする。

【結果】賛成多数で可決

【主な質疑項目】

- ・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業の予算の算出根拠、支給手続、要件変更への対応
- ・支給対象者への周知方法
- ・前回補正予算の支給実績

【結果】賛成全員で可決

令和3年第1回臨時議会

予算特別委員会

令和2年度補正予算

◆一般会計(第11号)

【説明】歳入歳出それぞれ3億2千338万8千円を追加し、総額をそれぞれ1千53億7千224万2千円とする。

【主な質疑項目】

- ・財政調整基金残高の状況の認識、交付金の充当見直し
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業のスケジュール、周知方法、先行接種の対応、補正予算の位置づけ
- ・コールセンター運営委託の業務内容、積算概要、市民への周知、窓口体制、庁内連携
- ・市内事業者緊急支援事業の積算根拠、周知方法、申請の簡素化、予算額に達した場合の対応、他自治体の動向
- ・支援金の使途に関する固定費の内容

【結果】賛成多数で可決

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、今定例会における各委員会での主な審査内容についてお知らせします。

企画総務委員会

「行政財産使用料条例の一部を改正する条例」

【説明】令和2年度の地方税法改正に伴い条例を改正する。延滞金の割合の特例を定めた特例基準割合の名称等が変更されるため、関係する規定を整備する。延滞金の割合はこれまでの水準と変更はないものである。

【主な質疑】

- 問 西東京市で延滞金が発生する事例としてどのようなケースが想定されるのか
- 答 この間、延滞金は発生していない。

【結果】賛成全員で可決



企画総務委員会 市税に関する自主勉強会(令和2年1月29日開催)

文教厚生委員会

①「財産の処分について」

②「市立保育所設置条例の一部を改正する条例」

【説明】①市立しもほうや保育園の設置及び運営を民間に移管することに伴う財産の処分、処分の相手方は、社会福祉法人至誠学舎東京となる。西東京市公設民営保育園の民設民営化計

【結果】賛成多数で可決

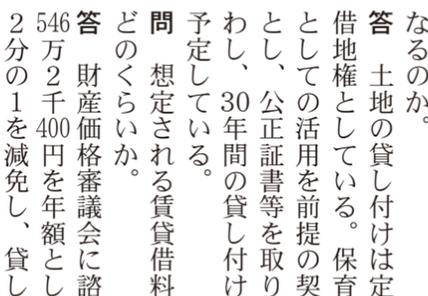
画に基づき選定したものの。

②市立しもほうや保育園の設置及び運営を民間に移管することに伴い、市立保育所としてのしもほうや保育園を廃止するもので、令和3年4月1日から施行する。

【主な質疑】

- 問 西東京市と相手方との関係はどのようになるのか
- 答 保育の実施義務や運営費、給付費の支払い、保育内容にかかわる指導検査の部分で、引き続き市がかかわるので、保育に関する関係性は続く。
- 問 土地の契約方法について、有償の費用、期間、地上権設定等は、どのようになるのか
- 答 土地の貸し付けは定期借地権としている。保育園としての活用を前提の契約とし、公正証書等を取り交わし、30年間の貸し付けを予定している。
- 問 想定される賃貸借料はどのくらいか
- 答 財産価格審議会に諮り、546万2千400円を年額とし、2分の1を減免し、貸し付けする予定としている。

【結果】賛成全員で可決



しもほうや保育園

建設環境委員会

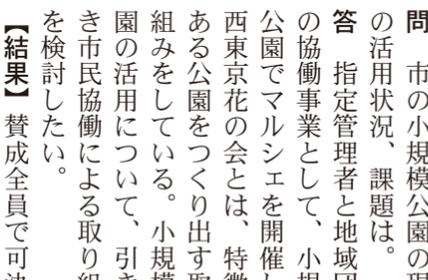
「西東京いこいの森公園及び周辺の市立公園の指定管理者の指定について」

【説明】令和3年3月31日をもって指定管理者の指定期間が満了となることから令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間の指定を行うもので、プロポーザルによる選定、指定管理者候補選定委員会の審査を経て、西東京の公園・西武パートナーズを選定したものの。

【主な質疑】

- 問 応募団体は1団体だったが、相談はあったか
- 答 都内近郊の指定管理事業者に案内を送るとともに、指定管理者協会等HPにも掲載し、周知に努めた。その結果7団体の参加があったが、応募は1団体にとどまった。
- 問 市の小規模公園の現在の活用状況、課題は
- 答 指定管理者と地域団体の協働事業として、小規模公園でマルシェを開催した。西東京花の会とは、特徴のある公園をつくり出す取り組みをしている。小規模公園の活用について、引き続き市民協働による取り組みを検討したい。

【結果】賛成全員で可決



建設環境委員会 西東京いこいの森公園現地調査(令和2年10月13日開催)

議会運営委員会視察報告

【日程・視察先】令和2年10月19日・東京都町田市

【報告者】議会運営委員長 保谷なおみ

【参加委員】保谷なおみ、藤岡智明、かとう涼子、藤田美智子、浜中のりかた、酒井ごう一郎、森しんいち、佐藤公男

【参加委員外議員】田中のりあき、保谷清子、小峰和美、森てるお、納田さおり、田村ひろゆき

高校生との意見交換会

町田市では市制施行50周年記念として、中学生議会を2回開催した。その後、議会運営委員会の小委員会の中で、議会への関心度を上げるために何ができるかを話し合い、ちょうど18歳に選挙権年齢が引き下げられることが決まったことだつたので、高校生を対象にするようになった。

高校生と町田市議会の意見交換会

高校生と町田市議会の意見交換会は、議員が各グループに入り話し合い、意見をまとめるやり方を取っている。

決算及び予算の審査

予算については、従来から常任委員会の中で審査してきた。決算については、決算特別委員会で行っていたが、予算と同じく常任委員会として審査することになった。このやり方のほうが、常任委員会の専門性を生かし、質の高い質疑をすることができると。質疑時間の制限や回数制限はないが、予算・決算とは関係ない質疑はしないことになっている。

タブレット端末の導入について

現在策定が進められている市の長期計画の進捗に合わせ、今年度、本市議会でも大学生との意見交換会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施できなかった。

タブレット端末を先に導入する。



町田市議会議場